

架け橋

～広域紋別病院だより～



移転後1周年を迎えた広域紋別病院

目次

1. 表紙（移転後1周年を迎えた広域紋別病院全景）
2. 診療部から（小児科）
3. 医療技術部から（臨床工学係）
4. 看護部から（私たち看護師になって一年が経ちました）
5. 新病院の医療機器紹介（放射線係、臨床検査係、臨床工学係）
6. 健康レシピ（栄養指導係）・職員の募集について
7. クイック検診について
8. 病院行事報告・4月から着任した医師の紹介・編集後記

病院理念

みなさんと心をひとつに、互いに尊敬と感謝の気持ちを共有し、笑顔の医療を提供します。

- ・常に、質の高い医療を安全・確実に提供します。
- ・生命、人としての尊厳を敬い、心のかよう医療を提供します。
- ・人材の育成に努め、働く喜びを共有できる環境づくりを進めます。

～ 子どもは小さい 大人ではない～



小児科医長 佐藤 祐子

子供は大人への成長途上であり立場的に大人の方が上である、と思われそうですが、子供たちはその成長過程のひとつひとつで確固たる強烈な程の自我を持ち、この点で大人と同様です。これを踏まえ、今回は小児科外来における診察の実態と成長についてご紹介します。

新生児期、乳児期のいわゆる「赤ちゃん」は空腹や不快感からの脱却、親の愛情を得る事に全力を注ぎ生命の維持に努めます。よって、彼らにとって我々医療スタッフが触ろうが聴診器を当てようが、不快でさえなければお構いなしでニコニコご機嫌です。

離乳食にも慣れて何でも口にする1歳前くらいには、周囲に対し興味と警戒心が芽生えています。結果、診察室では見慣れぬ聴診器を触り時には食べようとして興味を示した後、医者が診察しようとした瞬間に5秒先のまだ見ぬ将来を警戒し大泣きします。

「知らない大人について行ってはいけません」と子供たちに教え込みますが、目の前にいる知らない大人に何をされるか分からず、ましておなかを出すなんて平気である方が保身のためには余程危険ですので、警戒することはこの時点で全うな行動と言えます。

そのうち慣れてきます。この過程で相対する2つの認識をしますが、一つは「あの白い服の人たちは実は痛い事をしない」という認識で良い意味で慣れたと言えます。

もう一つは、「ここは注射やら鼻の検査やら痛い事をされる場所！」という恐怖に対する学習とも言える認識です。

おおむね2歳前くらいからこの認識が出てくるように思いますが、これは知恵がついていることの現れであり成長の証です。

しかし、この過程では子供たちはまだ大人程の経験を持ち合わせず、診察や検査が子供たち自身にとっての利益になるという事実を知らずにただ恐怖を感じていることも多いはずです。

そのため、診察や検査の必要性を教える、診察を早く済ませることで恐怖からむしろ早く助け出す、また子供たちの安全を確保する、という目的でスタッフも交えた「診察介助」が必要です。

一見すると泣き暴れる子供を押さえつけて何とも痛ましい光景に見えるかもしれませんが、実は子供たちのためにこそ必要なサポートです。

時に、その時々強烈な自我が発揮された子供たちと世の中を少しだけ多く知っている大人たちとの必死の闘いになることもあります。

故に、小児科の診察では思いがけない程の時間とマンパワーを要することがあります。そのため診察の待ち時間が予想以上に長くなることがあるかもしれませんが、どうかご容赦ください。

子供たちの健全で健康な成長のため、今後とも変わらぬご理解ご協力をよろしくお願い致します。

医療技術部から

～ 臨床工学係 ～

病院内で使用されている医療機器について

私たちの身近には様々な医療機器があります。医療機器は、人体の生命や健康に大きな影響を及ぼすという性格上、薬事法で厳密に定義づけられています。

医療機器には、ハサミ、メスなどの鋼製小物から人工呼吸器、麻酔器などの中型機器、X線CTやMRIの大型診断機器、埋込タイプのペースメーカー、人工関節、そのほか人工透析装置、内視鏡など多種多様の製品があり、現代医療においては、診察室、検査室から手術室、集中治療室、救急医療現場などの多くの臨床現場において医療機器を用いない医療行為が行われることはかなり少なくなってきました。

また、身近な医療機器として、コンタクトレンズやメガネ、補聴器、さらには血圧計、歯に被せる金属、マッサージ器なども存在し、必ずしも実生活に縁遠いものではなくなってきました。



当院では、医療機器をME機器安全管理システム【MARIS】を用い、貸出・返却・点検などの一連の業務をME室で中央管理し、医療機器の購入から廃棄に至る全ての過程において、総合的な医療機器管理を行っています。

また、【MARIS】では、点検情報の入力や、故障修理履歴の管理などが行え、今まで以上に安全を確保できるようになっています。

新しい医療機器の購入が決まり納品される際には、ME室にて機器の登録から納入時点検までを一貫して行うことで、新規購入機器の機械的トラブル時の対応を即座にできるよう体制を整えています。

中央管理機器については一部を除いてメーカーの講習を受け、院内で修理できる体制を取っています。



また、ラウンド業務を行うことにより、院内の医療機器の稼働率を把握すると共に、医療機器の適正台数の算出にも力を入れています。

これからも、院内で使用する医療機器のできるだけ多くの機器を臨床工学技士が保守・管理することを目標とし、機器の適正使用と使用環境の向上に努めたいと思っています。

看護部から

～私たち看護師になって 一年が経ちました～

こんにちは。私たち二人は平成27年度4月から看護師として働いている新人看護師です。

今回は私たちの働き始めてからの1年を振り返りたいと思います。5月、8月、10月、12月の計4回、新人研修をさせていただきました。

先輩看護師からだけでなく、理学療法士の方から、体位変換や車いすへの移乗方法など専門的な知識もふまえて教えていただくことができました。

また、研修以外でも日々の看護の中で多くのことを学ぶ機会があります。

優しく、時には厳しくご指導いただきながら自分の目指す看護は何なのか考え、看護の大切さを日々学んでいます。



人の命を預かる責任の大きさ、コミュニケーションの大切さなど患者様からも多くのことを気づかせていただいています。

一生懸命自分の命と向き合い、病気と闘っている患者様の気持ちに寄り添えるよう看護したいと考えています。

そのためにも毎日を振り返り、次に活かしていくことでより良い看護の提供ができるよう努力し、成長していきたいと思っています。



医療の提供には多職種の連携が必要となります。

仕事以外の場面でも、院内だけではコミュニケーションをとる事の少ない職種の方々と交流を図る機会があります。

年末に行われた忘年会では普段話すことの少ない方たちとテーブルを囲み、新人によるステージ発表やゲームなどをして、楽しい時間を過ごすことができました。

日々、色々な方々に支えられながら、充実した生活を送ることができています。一日でも早く一人前の看護師になれるよう、これからも笑顔や優しさを忘れず努力をしていきたいと思えます。

『ナースこぼなし』 その10

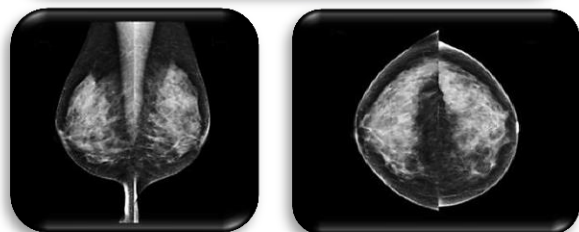
ある患者さんのもとに、毎日2～3回旦那様が面会にいらっしゃいます。

旦那様が帰るとき、患者さんは必ずエレベーターが閉まるまで見送ります。閉まった後、次はデイルームへ移動し、旦那様の車に大きく手を振って旦那様も手を振り返しているのを見てほっこりしました。

私もこのような仲の良い夫婦になりたいです。

新病院の医療機器紹介

《放射線係》 【マンモグラフィー】



2015年春に新しく日立社製Selenia Dimensionsを導入いたしました。

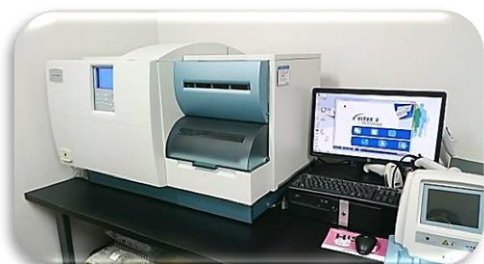
平面検出器（フラットパネルディテクター）を搭載し、低被ばくで鮮明なデジタル画像をご提供できます。

また、新技術のトモシンセシス（3D撮影）を搭載し、通常のマンモグラフィー（2D撮影）の画像では見られない画像をご提供します。

この技術によって、乳がんの発見率の向上や、病変の位置を正確に把握することが可能となり、診断精度の向上が期待されます。

主に垂直と斜めの二方向からの撮影があり、それぞれ見やすい個所が異なります。

《臨床検査係》 【同定検査・薬剤感受性試験機器 VITEK2】



今回は菌の名前を突き止める「同定検査」と、菌に効く薬剤（抗菌薬）を調べる「薬剤感受性試験」を行う検査機器を紹介します。

採取した検体に細菌が存在していれば培地で発育し、菌のかたまり（コロニー）が観察されます。

コロニーを採取し、薬品の入った専用カードと共に下の写真の検査機器で同定検査、「薬剤感受性試験」を行います。

コンパクトな専用カードは、医療廃棄物の削減効果も期待できます。

菌の名前や抗菌薬が判明することでより適切な治療が可能となります。



《臨床工学係》 【透析用監視装置DCS-100NX】



新しい装置として、日機装社製 透析用監視装置DCS-100NXを導入しました。

この装置は、自動運転機能D-FASを内蔵しており、シンプルな操作性で業務の省力化が期待できます。

また、シールレスポンプが採用されている他、配管部品動作チェック機能や消耗部品交換時期の報知機能が備わっているため、メンテナンス性が向上し、より安全に透析治療が行えるようになりました。

さらに、HDモード、ECUMモードの他に、オンラインHDFというモードが使用可能になっており、目的に合わせた治療ができるようになりました。

ホタテの稚貝とアスパラのオイスター炒め

初物が楽しみな季節ですね♪ オホーツクの春の食材を使った一品をご紹介します。

◆材料◆（1人前）

ホタテの稚貝	30g
アスパラ	30g
玉ねぎ	15g
人参	5g
刻みにんにく	1g
サラダ油	2g
湯	20g
酒	2g
① オイスターソース	4g
中華顆粒調味料	0.5g
黒こしょう	少々
片栗粉	1g

◆作り方◆

1. アスパラの根元（下から5cm程度）の皮をピーラーで剥き、硬い根元1.5cm程を切り落とす。
2. 3～5cm長さの斜め切りにし、お湯で1分ほど茹でてザルにあげる。
3. 人参は短冊切り、玉ねぎはスライスにする。
4. ①の調味料を混ぜておく。
5. フライパンに油を熱し、刻みにんにくを加え香りが出たら、人参、玉ねぎ、アスパラ、ホタテの順に入れて炒める。
6. 4の合わせ調味料を入れ、手早く炒め合わせたら完成。（トロミがつきすぎてしまった場合は、お湯を少量足すと餡が緩くなります）

◆栄養価◆

エネルギー	64kcal	ビタミンA	51μg
たんぱく質	5.5g	ビタミンK	17μg
脂質	2.4g	ビタミンC	7mg
炭水化物	5.4g	カリウム	222mg
食物繊維	0.8g	リン	93mg
食塩相当量	0.9g		

ホタテにはタウリンが豊富です♪
【タウリン】

肝臓の機能を高める3つの働き

- 1.胆汁酸の分泌を盛んにすることで肝臓の働きを助ける
- 2.肝細胞の再生を促進させる
- 3.細胞膜を安定化する



職員の募集について

広域紋別病院では看護師・助産師・薬剤師・理学療法士・療養介助員を随時募集しています。

募集内容については当院ホームページでご覧いただけるほか、紋別ハローワークでも求人票を掲載しています。電話でのお問い合わせは、下記連絡先までお願いいたします。

○お問い合わせ先

広域紋別病院 事務部 総務課 職員係 Tel : 0158-24-3111 Fax : 0158-24-3112

病院ホームページ : <http://www.mombetsu-hospital.jp/>

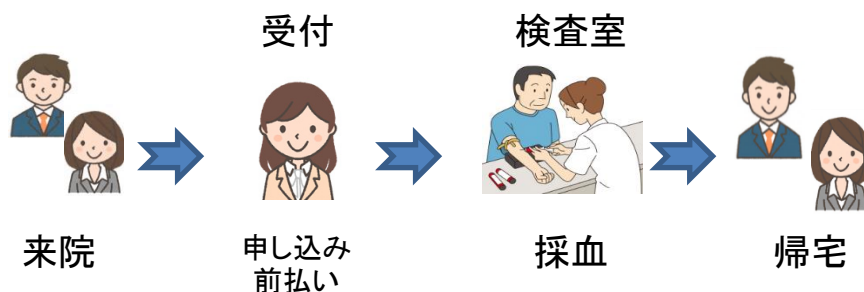
クイック検診のお知らせ

普段の健康状態・・・気になりませんか？！
当院では平成28年1月4日から「クイック検診」の受付を開始しています。

検査の種類は6項目あります

- ・ 貧血(貧血の有無、程度がわかります)
- ・ 肝機能(肝臓の働きがわかります)
- ・ 腎機能(腎臓の働きがわかります)
- ・ 脂質(コレステロールのバランスがわかります)
- ・ 血糖(血糖値や長期間の血糖状態がわかります)
- ・ 肺機能(肺年齢がわかります)

検診の流れ



診断結果は1週間位でご自宅にお送りします

※ 実施時間 午前9時～12時・午後1時～4時

・各検査の料金は500円です

※受診する検査項目数×500円をお申し込みの際にお支払い頂きます

・検査は1種類から最大6種類まで受診できます

待ち時間は殆どありません



病院行事報告

1. 「院内セミナーの開催」

日時場所：平成28年3月11日（金） 17時15分～ 広域紋別病院 2階 大会議室

「心電図モニタの勉強会」

札幌医科大学「道民医療推進学講座」

特任助教 西田 絢一 先生



4月から着任した医師の紹介

担当科	氏名	役職	出身大学等
総合診療科	谷元 博 (たにもと ひろ)	医長	自治医科大学 平成21年卒
趣味	スポーツ観戦		
内科診療を行っております。当院の各診療科、また近隣の諸先生方と連携をとりながら、医療に貢献できるように勤務して参ります。よろしくお願い申し上げます。			
総合診療科	坂本 正州 (さかもと せいしゅう)	医師	鹿児島大学 平成24年卒
趣味	釣り シーカヤック		
鹿児島県の奄美大島からこの4月に赴任しました。地域の医療のためにできる限り努力して参ります。どうぞよろしくお願い致します。			

編集後記

昨年の今頃、この新病院に移転し、ちょうど1年が経ちました。

職員も、慣れない環境と新しいシステムなどに毎日四苦八苦しながら、あっという間に1年が過ぎたように思います。

通院している患者さんも、古い病院とは受付方法等が変わり、困惑した方も多かったと思います。

これからもより一層皆様に喜ばれる病院となるよう、職員一同努力してまいります。

また、この病院を利用してくださる患者さん達が、これからもこの病院を育てる手助けをしてくださることを願っています。

編集：広域紋別病院広報委員会

発行：広域紋別病院

〒094-8709

紋別市落石町1丁目3番37号

TEL・FAX 0158-24-3111

URL：<http://www.mombetsu->

[hospital.jp/](http://www.mombetsu-hospital.jp/)